

## 愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

<b>氏名</b>	武山 絵美	<b>専 攻</b>	生物環境学
		<b>コ ー ス</b>	地域環境工学
<b>職名</b>	准教授	<b>専門分野</b>	地域計画情報学
<b>メールアドレス</b>	takeyama@agr.ehime-u.ac.jp	<b>その他連絡先</b>	
<b>研究課題</b>	■農村地域における空間設計および土地利用計画による獣害対策手法の開発 ■農地－山地間バッファゾーン的设计・整備手法に関する研究		
<b>キーワード</b>	土地利用計画, 獣害対策, イノシシ, GIS, 中山間地域, 農業農村整備, 合意形成		

### 研究内容：

■農村地域における空間設計および土地利用計画による獣害対策手法の開発

キーワード: 獣害対策, イノシシ, GIS, 土地利用計画

GIS による農地データベースの構築, GPS による野生動物の侵入痕跡調査, センサーカメラによる動物行動調査等を組み合わせたフィールド調査手法, およびアンケート調査等により得られた社会学的データを加味し, 野生動物(主にイノシシ, シカ, サル)による食害発生要因および農地基盤の損壊現象を総合的・多角的に分析し, 地理的・社会的条件を活かした獣害対策の計画・設計手法を開発する.

■農地－山地間バッファゾーン的设计・整備手法に関する研究

キーワード: 中山間地域, 獣害対策, 基盤整備, 耕作放棄, 合意形成

野生動物の生息地の集塊性および連結性を分析し, 農地が山林と接する縁辺部において境界空間(バッファゾーン)を生み出す設計技術や, 野生動物のコリドーを人為的に分断・誘導して人と野生動物がすみ分ける空間設計・整備手法を開発する.

### 提供可能な資源・技術・その他

GIS および GPS を用いた土地利用調査手法, 赤外線センサーカメラを用いた動物行動調査手法, ワークショップのコーディネート・ファシリテーション技術, 愛媛県島嶼部に係る各種データベース, 鳥獣害の発生状況および対策手法に係る諸データ.

### プロジェクト研究希望テーマ

- ・鳥獣害対策に係る研究
- ・農業農村整備手法に係る研究
- ・農村地域の農地転用と土地利用計画に係る研究